

守ろう、働く者の団結で 生活と権利と平和を



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 ⑧3033 番
⑧3034 番
編集兼 山下 開
発行人
半年間1,200円 送料共



大牟田地区統一メーデーの祭典会場。多種多様なプラカードがきわ立つた。

炭労、春闘を妥結

存廃が問われる平和協定

炭労は、四月二十九日賃上げを妥結した。

妥結となった会社回答は賃上げ

で一万四千五百八十八円という事実一

つ見てもらえるように、炭鉱労働

問われることになっている、三池

者の生活の現実をまったく無視す
るものになっており、たとえ妥結
こそしたものの、不満は職場に家
庭に大きく残り、それが資本への
怒りをますますかき立てる結果と
なっている。
同時に、きたる六月その存廃が
問われることになっている、三池

おわび
▼…本号は、くらしの
知恵がやむなく休載せざるを得なくなりました。次号に掲載します。

第四八回統一メーデー万歳

強まる未来への確信

春闘・参院選の勝利誓う

第四十八回大牟田地区統一メーデーは、五月一日約六千の働く者を結集し、まず榎林公園で記念祭典が行われ、それに引き続きデモ行進をもって終った。メーデーには全国で約七百万の働く者が参加したと伝えられたが、なお春闘がうち続き、同時に参議院議員選挙も目前に迫っているだけに参加者の気持も違っていた。祭典の最後に、「市民各層とスクラムを組み、七十七国民春闘・参議院議員選挙の勝利、反戦・平和、民主自治の確立」をめざして前進すること（別項大会宣言参照のこと）を誓ったが、全参加者一人ひとりの胸の底に未来をめぐす闘いへの確信が強まった。

大牟田地区統一メーデーは約六千の働く人びとを結集して開かれ、社・共産党をはじめとする民主的諸団体も多数参加、祝賀をおこした。

保革伯仲という国会の実態のなかでさえ、ロッキード疑獄事件に幕を閉じ、朴・韓国反動政府に反対し、大陸棚条約の強行締結をはかり、アジアの平和をおびやかす（社会党代表・細谷代議士）福田自民党政権がなお続くなかでのメーデーだっただけに、参加者の決意も違っていた。

大会はいくつかの決議も行ったが、現に倒産の危機に直面する中小企業を救済し、農山漁業の発展、漁場の確保、自衛隊増強反対、平和と民主主義・国民生活の擁護そのほか、働く人びとに課された課題は多い。

それにもかかわらず、祭典での各代表の発言が触れていたように革新勢力の力量は急速に増大して

第四十八回メーデーはきびしい経済情勢のなかで、相変らず働く生活不安をはね返す、勤労国民の生命とくらしと権利を守ることを目的に、労働者・市民各層の闘う意志を結集し盛大に開かれていた。

自民党福田内閣は、与野党伯仲という政治状況が生まれ、たにもかかわらず、大資本本位の政策をおし進め、国民には諸物価の値上げ、首切り、倒産、賃下げ、福祉の切り下げ、公害・労働災害・職業病の多発、地方自治・教育の破壊、司法の反動、などの犠牲を強要している。

大会宣言

と福祉予算の削減しなどを勝ち取ることであります。しかし健康保険法改悪、国鉄運賃の法定主義緩和、最低賃金の改定と額上げなどの緊急な諸課題が山積しています。

一九七七年五月一日

第四十八回大牟田地区統一メーデー大会

その中で七月には保革逆転をめざす参議院議員選挙が行なわれますが、一層の前進を期してその勝利に向け最大の力を注いでいくことを再確認いたします。

闘いはいまからです。新たな決意で、七十七国民春闘・参議院議員選挙の勝利、反戦・平和、市民のための市政確立のため市民各層とスクラムを組み、前進することを誓い、大会宣言とします。